

株主メモ

- 事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
- 定時株主総会 5月
- 基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月末日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告方法 電子公告により行います。
ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701)
電話お問合せ先 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
- 同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

株式会社テイツー

IR窓口:東京都港区芝公園二丁目4番1号 ダヴィンチ芝パークA館8F

TEL (03) 5408-5532 メールアドレスir@tay2.co.jp

インターネットホームページ <http://www.tay2.co.jp>



株主の皆様へ

第18期報告書

(2007年3月1日～2008年2月29日)

株式会社テイツー

Q 2008年2月期の業績についてお聞かせください

A 2008年2月期は、新品・中古ゲーム及び古本が売上を牽引した古本市場事業が好調に推移し、連結売上高は455億6千8百万円（前年同期比1.6%増）、連結営業利益は14億4千8百万円（前年同期比39.3%増）、連結経常利益は14億1千3百万円（前年同期比41.7%増）、連結当期純利益は6億3千4百万円（前年同期比220.3%増）といずれも過去最高の成果を達成することができました。

古本市場事業に関しましては、2006年の「ニンテンドーDS Lite[®]」、「プレイステーション[®]3」、「Wii[®]」といった新型ゲーム機の登場による家庭用テレビゲーム市場の活況に対応するため、ゲーム売場の拡大などのレイアウト変更を全店舗で実施したほか、老朽化により競争力の低下した店舗については大規模な改装を行いました。こうした家庭用テレビゲーム市場の活況を活かすための取組みによって、古本市場事業は大幅な増収増益を挙げることができました。

アイ・カフェ事業に関しましては、新メニューや新サービスの導入など様々な既存店増収策を実施したほか、コスト管理の徹底を図るとともに、収益性を重視し、立地や賃借条件を厳選する出店に徹したことにより、営業損失は大幅に縮小されました。

EC事業に関しましては、「@古本市場」のモバイルサイトの全面改修などウェブサイトの利便性を向上させたほか、買取強化キャンペーンによる販売用の在庫確保に努めるなど、売上向上を図ってまいりました。これらの取組みによって利益率の高いリサイクル品の売上が着実に伸びたことなどにより、通期ベースで黒字に転換することができました。

Q 新年度における組織変更の狙いについてお教えください

A 2008年3月にカンパニー制を廃止し、「営業本部」、「経営管理本部」、「人事企画本部」、「事業開発本部」の4つの本部を新設するとともに、内部統制環境の強化を図るために「内部監査部」を独立組織とした組織変更をいたしました。この組織変更によって全社的な機能強化を図り、本部別ミッションを明確にし、より効率的な営業活動、組織運営などに努め、業績向上に努めてまいります。

Q 2009年2月期の業績見通しをお聞かせください

A 2008年2月期は、過去最高の成果を達成することができました。しかしながら、この好業績の背景にあった家庭用テレビゲーム市場の活況も落ち着きを見せはじめするなど、2009年2月期の業績見通しでは、2008年2月期の売上好調の反動減を見込まざるを得ません。2009年2月期は、主力事業であります古本市場事業の安定的成長を目指すとともに、子会社の育成・強化に取組み、連結業績の向上を図ってまいります。そして、当社の経営理念である「満足を創る」の意義を改めて確認するとともに、「お客様」の「満足を創る」ことを第一に考え行動する、という私たちのビジネスの原点に立ち返りたいと考えております。

古本市場事業においては、引き続きドミナントエリア内へ直営店を中心とした出店を行うとともに、業務提携などによる業容の拡大も検討してまいります。アイ・カフェ事業においては、収益性を重視した立地や賃借条件を厳選し、出店投資を抑制しつつFC店を中心に出店を進め、店舗網の拡大と収益性の向上を図ってまいります。EC事業においては、モバイルサイトなどのツールを活用した顧客分析に基づく施策を実施し、既存会員の購買率向上や新規会員の獲得に注力し売上拡大を図ってまいります。

これらの取組みに努めつつも好調であった前年実績の反動減の影響を鑑み、2009年2月期の連結売上高は、440億円（前年同期比3.4%減）を見込んでおります。利益面においては、システム投資の発生などに伴う費用増加により、連結営業利益は12億7千万円（前年同期比12.3%減）、連結経常利益は12億円（前年同期比15.1%減）、連結当期純利益は5億円（前年同期比21.3%減）を見込んでおります。システム投資につきましては、当社の強みである「品揃えを通じた顧客満足の実現」及び「在庫管理の適正化による利益実現」をより確固たるものにするための、将来に向けた先行投資として受け止めていただければ幸いです。



代表取締役社長 大橋康宏

Sales Activities 営業の概況

2008年2月期の連結売上高は、新品・中古ゲーム及び古本が売上を牽引した古本市場事業が好調に推移し、455億6千8百万円（前年同期比1.6%増）となりました。利益面においても、古本市場事業の売上好調、アイ・カフェ事業の赤字縮小及びEC事業の通期ベースの黒字化によって、連結営業利益は14億4千8百万円（前年同期比39.3%増）、連結経常利益は14億1千3百万円（前年同期比41.7%増）、連結当期純利益は6億3千4百万円（前年同期比220.3%増）と大幅な増益となり、いずれも過去最高の成果を達成することができました。

古本市場事業

古本市場事業においては、新型ゲーム機の登場による家庭用テレビゲーム市場は急拡大、音楽・映像パッケージソフト市場は縮小傾向の中にあって、当社は全店舗で市場環境に対応した売場レイアウトの変更を実施し、売上拡大を図りました。さらに、従来の主要顧客である若年層に加え新しい客層を開拓するため、店舗のサインツール類やPOPを全店舗で一新するなど、売場作りの強化にも注力いたしました。また、老朽化により競争力の低下した店舗については大規模な改装を実施し店舗競争力の向上に努めました。新規出店としては、直営店として中仙道店（岡山県）、東住吉店（大阪府）、大宮三橋店（埼玉県）の3店舗の出店を行い、古本市場店舗網の充実を図りました。

これらにより、当連結会計年度における古本市場事業の売上高は423億3千2百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は26億8千2百万円（前年同期比12.2%増）となり増収増益を果たすことができました。

アイカフェ事業

アイ・カフェ事業においては、同業者間の競争が顕著になると同時に、一店舗当たりの売上高の伸びは鈍化する厳しい環境の下、新メニューや新サービスの導入、集客や拡販のための様々なキャンペーンを展開するなど、既存店増収策を実施するとともにコスト管理の徹底を図りました。出店については、収益性を重要視し立地や賃借条件を厳選した出店方針のもと、直営店として仙台駅西口店（宮城県）1店舗を新規出店いたしました。

連結子会社であるインターピア株式会社においては、時間制課金型



ビジネス向けの店舗運営管理システムの販売を継続すると同時に、次世代版の店舗運営POSシステム開発を進めてまいりました。

しかしながら、インターピア株式会社における新しい店舗運営POSシステムが開発途上であったことから、当連結会計年度におけるアイ・カフェ事業の売上高は28億1千6百万円（前年同期比4.6%減）となりました。一方、利益面においては、アイ・カフェ直営既存店の売上増加とともに直営店の出店数が前期5店舗から今年1店舗であったことにより、営業損失2億2千4百万円（前連結会計年度は営業損失4億1千8百万円）となり、営業損失が大幅に縮小される結果となりました。

EC事業

EC事業においては、中古品の買取促進のためのキャンペーンを実施するなど古本・中古ゲーム・中古DVDを中心に販売用の在庫確保に注力し、販売強化に努めました。加えてRSS（ウェブサイトの更新情報を簡単にまとめて配信する機能）対応サービスの開始、モバイルサイトの全面的な改修など、ウェブサイトの利便性を向上することで売上拡大を図ってまいりました。

しかしながら、EC売上への取組み強化と経営資源の再配分のため、トナー事業を2007年2月に事業譲渡したことにより、当連結会計年度におけるEC事業の売上高は5億6百万円（前年同期比10.8%減）に留まりました。一方、利益面においては、利益率の高いリサイクル品の売上が着実に伸びたことなどにより、営業利益7百万円（前連結会計年度は営業損失2千9百万円）と通期ベースで黒字に転換することができました。

* 事業の種類別セグメント情報は10ページをご参照ください。

「テイツー “もったいない” ファンド」が、第1号出資

「テイツー “もったいない” ファンド」は、当社が強みをもつ「再使用 (Reuse)」関連事業に加え、「資源再利用 (Recycle)」及び「消費削減 (Reduce)」に関する事業を行うベンチャー企業を対象に、資金面・経営面でサポートするとともに、3R関連市場拡大に伴う相乗効果を当社グループの企業価値向上に繋げることを目的として、2007年9月に設立しました。2008年3月に、今後の成長性や3R関連市場拡大に伴う相乗効果が見込めることから、株式会社ヘイブが第1号の出資先となりました。

株式会社ヘイブは、3R事業のうち「リユース」事業に該当する「古着」を中心に買取販売する事業を展開されており、お店にある商品が毎週水曜日に1,000円ずつ下がっていく逆オークション方式を取り入れた販売方法のリサイクル古着ショップです。「DonDonDown on Wednesday」の名のもと、現在は青森県、岩手県を中心に13店舗を展開しております。

当社は、今後も「テイツー “もったいない” ファンド」を通じ、3R事業を営み上場の可能性を有する企業へ出資し、当社グループの企業価値向上に努めてまいります。



新規出店 (古本市場、アイ・カフェ)

ドミナントエリアにおける古本市場ブランドの知名度とシェアのさらなる向上を目指し、2007年12月に「古本市場 大宮三橋店」(埼玉県)を出店いたしました。また、アイ・カフェは収益性を重視し、立地など厳選した出店に努めるとともに、FC店の出店を中心とした店舗網拡大を進め、2008年4月にFC店「アイ・カフェ ピーアーク竹ノ塚店」(東京都)を出店いたしました。2009年2月期も、古本市場は引き続きドミナントエリアへ直営店を中心とした出店、アイ・カフェはFC店を中心に厳選した出店を進めてまいります。

「AKIBAスペース6.0」オープン

2007年12月に東京都千代田区秋葉原の秋葉プレイスビルで営業していた古本市場を全面業態転換し、新たなビジネスへのチャレンジの場として、「AKIBAスペース6.0」をオープンいたしました。「AKIBAスペース6.0」は従来の物販店舗とは異なり、『買う』『遊ぶ』『観る』『出会う』の4つのキーワードから「体感スペース併設型の各種販売及び情報発信の場」をコンセプトにした、多目的スペースです。現在は、様々なイベント開催の場として利用されるほか、スペース内には個性豊かな飲料でおなじみの、日本サンガリア ベバレッジカンパニーの「日本で唯一! ココにしかない」オリジナルデザイン自動販売機を設置するなど、若者文化の情報発信地となった秋葉原という街の特性を活かした店舗運営を行っております。

また、3D仮想空間Second Life[®]で展開している「Virtual AKIBA PROJECT」と連動した企画なども進めております。



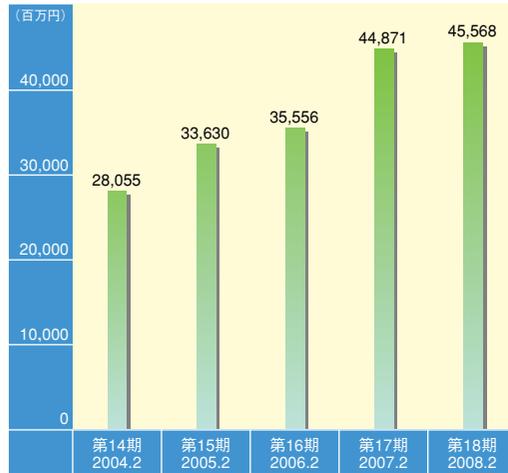
古本市場 大宮三橋店



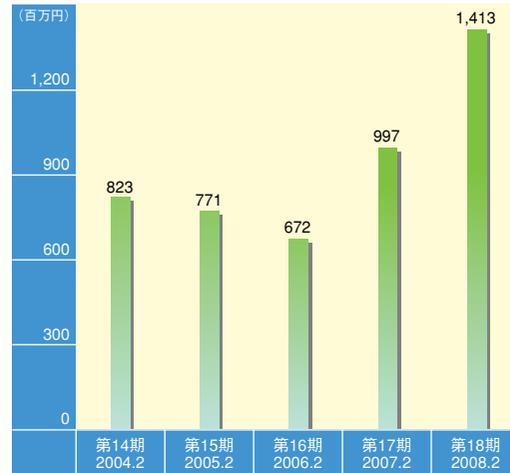
アイ・カフェ ピーアーク竹ノ塚店

Financial Highlight 財務データ (連結)

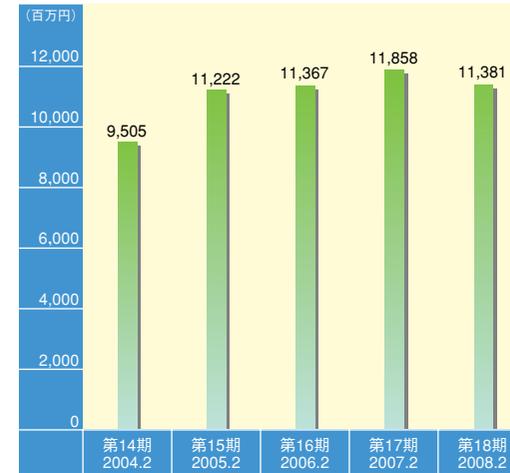
売上高



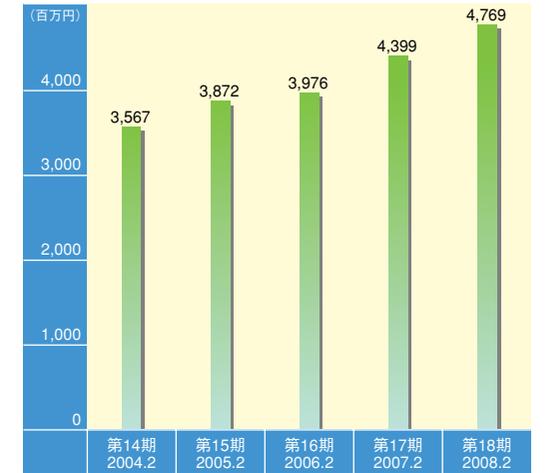
経常利益



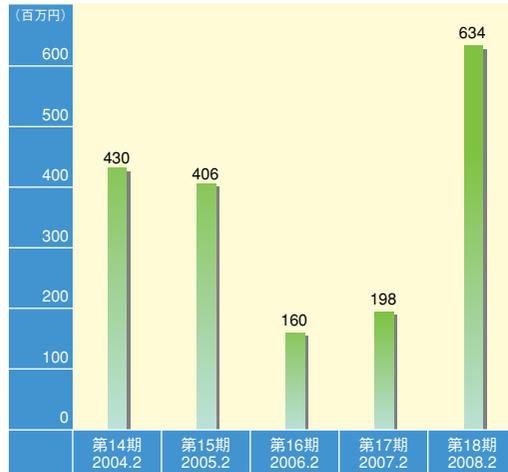
総資産



純資産



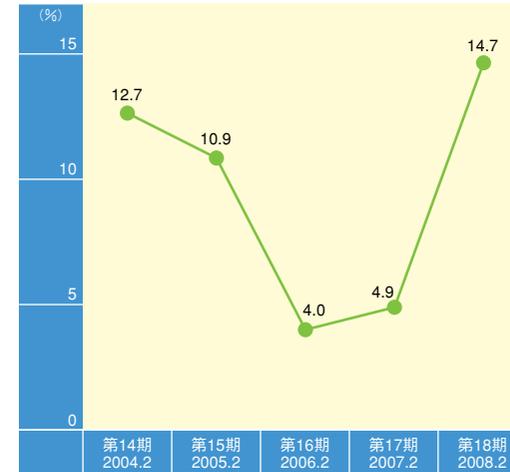
当期純利益



売上高経常利益率



自己資本利益率 (ROE)



自己資本比率



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2008年2月29日現在)	前期 (2007年2月28日現在)	科目	当期 (2008年2月29日現在)	前期 (2007年2月28日現在)
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	5,908	6,560	流動負債	4,722	5,083
現金及び預金	1,187	1,477	買掛金	1,365	1,859
たな卸資産	3,812	4,113	短期借入金	790	900
繰延税金資産	203	200	1年内返済予定長期借入金	743	902
その他	704	768	未払金	462	333
固定資産	5,473	5,297	未払法人税等	548	357
有形固定資産	2,305	2,297	ポイント値引引当金	281	292
建物及び構築物	1,659	1,750	その他	531	437
土地	242	242	固定負債	1,889	2,375
その他	404	304	長期借入金	1,401	1,895
無形固定資産	358	250	その他	487	479
ソフトウェア	276	131	負債合計	6,611	7,459
その他	82	118	【純資産の部】		
投資その他の資産	2,808	2,750	株主資本	4,555	4,090
投資有価証券	144	157	資本金	1,165	1,165
長期貸付金	506	530	資本剰余金	1,119	1,119
繰延税金資産	388	349	利益剰余金	2,612	2,095
差入保証金	1,624	1,568	自己株式	△342	△290
その他	144	143	評価・換算差額等	3	4
			その他有価証券評価差額金	2	4
			新株予約権	7	—
			少数株主持分	202	303
資産合計	11,381	11,858	純資産合計	4,769	4,399
			負債・純資産合計	11,381	11,858

ポイント解説 1

売上好調な状況下においても、適正在庫水準の維持に努めた結果、たな卸資産が減少しました。

ポイント解説 2

借入金の返済により、有利子負債総額は前期と比べて7億6千2百万円減少しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)	前期 (2006年3月1日から 2007年2月28日まで)
売上高	45,568	44,871
売上原価	34,545	34,518
売上総利益	11,022	10,353
販売費及び一般管理費	9,574	9,313
営業利益	1,448	1,040
営業外収益	129	117
受取利息及び配当金	13	4
その他	115	113
営業外費用	164	160
支払利息	58	60
その他	106	99
経常利益	1,413	997
特別利益	19	105
特別損失	185	491
税金等調整前当期純利益	1,247	611
法人税、住民税及び事業税	751	472
法人税等調整額	△40	71
少数株主損失	△97	△131
当期純利益	634	198

ポイント解説 3

新品ゲームの高い売上水準を維持しながら、古本や中古ゲームの売上に着実に伸ばしました。

事業の種類別セグメント情報

当期 (2007年3月1日から2008年2月29日まで) (単位:百万円)

	古本・雑誌	アイ・カフェ	EC事業	遊技施設	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	42,323	2,816	427	—	45,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	—	78	△ 87	—
計	42,332	2,816	506	△ 87	45,568
営業費用	39,649	3,041	498	929	44,119
営業利益	2,682	△ 224	7	△ 1,017	1,448

前期 (2006年3月1日から2007年2月28日まで) (単位:百万円)

	古本・雑誌	アイ・カフェ	EC事業	遊技施設	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	41,426	2,953	491	—	44,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	76	△ 82	—
計	41,432	2,953	567	△ 82	44,871
営業費用	39,041	3,372	597	821	43,831
営業利益	2,391	△ 418	△ 29	△ 904	1,040

ポイント解説 4

アイ・カフェの一部店舗の減損はあったものの、過去最高益を更新しました。

Financial Data 連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)	前期 (2006年3月1日から 2007年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,530	1,596
税金等調整前当期純利益	1,247	611
減価償却費	483	483
その他営業活動による増減額	409	781
小計	2,140	1,877
法人税等の支払額	△561	△219
その他	△48	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△934	△936
有形固定資産の取得・売却による収支	△342	△733
無形固定資産の取得による収支	△209	△67
差入保証金の払込・返還による収支	△84	△136
その他	△298	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936	△635
短期借入金の純増減額	△110	△800
長期借入金の借入・返済による収支	△652	143
その他	△173	21
現金及び現金同等物の増加額	△340	25
現金及び現金同等物の期首残高	1,394	1,369
現金及び現金同等物の期末残高	1,054	1,394

連結株主資本等変動計算書

当連結会計期間 (2007年3月1日から2008年2月29日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			
2007年2月28日残高	1,165	1,119	2,095	△290	4,090	4	0	—	303	4,399
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△122	—	△122	—	—	—	—	△122
当期純利益	—	—	634	—	634	—	—	—	—	634
自己株式の取得	—	—	—	△51	△51	—	—	—	—	△51
持分法適用会社減少 に伴う剰余金増加額	—	—	3	—	3	—	—	—	—	3
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1	0	7	△101	△94
連結会計年度中の変動額合計	—	—	516	△51	465	△1	0	7	△101	370
2008年2月29日残高	1,165	1,119	2,612	△342	4,555	2	0	7	202	4,769

Financial Data 財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2008年2月29日現在)	前期 (2007年2月28日現在)
【資産の部】		
流動資産	5,194	5,767
現金及び預金	704	831
商品	3,687	4,010
その他	803	925
固定資産	4,590	5,099
有形固定資産	1,574	1,481
建物	925	953
その他	649	528
無形固定資産	197	88
投資その他の資産	2,818	3,528
差入保証金	1,271	1,254
その他	1,547	2,273
資産合計	9,785	10,867
【負債の部】		
流動負債	3,915	4,530
買掛金	1,272	1,803
短期借入金	600	900
1年内返済予定長期借入金	485	655
その他	1,556	1,171
固定負債	1,262	1,747
長期借入金	827	1,324
その他	434	423
負債合計	5,177	6,278
【純資産の部】		
株主資本	4,598	4,584
資本金	1,165	1,165
資本剰余金	1,119	1,119
資本準備金	1,119	1,119
利益剰余金	2,655	2,589
自己株式	△342	△290
評価・換算差額等	2	4
その他有価証券評価差額金	2	4
新株予約権	7	—
純資産合計	4,608	4,588
負債純資産合計	9,785	10,867

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)	前期 (2006年3月1日から 2007年2月28日まで)
売上高	42,338	42,244
売上原価	32,028	32,474
売上総利益	10,309	9,770
販売費及び一般管理費	8,680	8,548
営業利益	1,629	1,221
営業外収益	131	123
営業外費用	129	136
経常利益	1,631	1,209
特別利益	12	48
特別損失	759	214
税引前当期純利益	883	1,042
法人税、住民税及び事業税	736	462
法人税等調整額	△41	37
当期純利益	188	542

Stock Information 株式の状況／会社の概要

株式の状況 (2008年2月29日現在)

■ 発行可能株式総数 2,000,000株
 ■ 発行済株式総数 551,400株

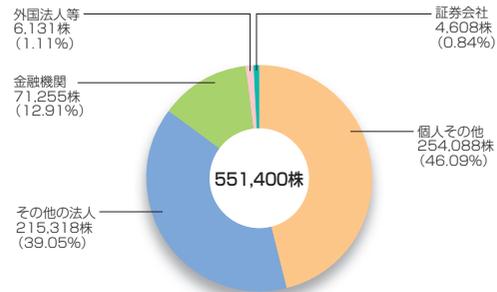
■ 株主数 6,534名

大株主

株主名	持株数	出資比率
有限会社ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	165,000 株	29.92 %
秋山良夫	20,000	3.63
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,862	2.70
株式会社山陰合同銀行	11,000	1.99
ティーツー従業員持株会	10,431	1.89
東京海上日動火災保険株式会社	10,000	1.81
大橋康宏	9,024	1.64
株式会社中国銀行	8,000	1.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,000	1.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,106	1.11
株式会社トマト銀行	6,000	1.09
住友信託銀行株式会社	6,000	1.09

(注) 当社は自己株式45,691株を保有しておりますが、表記しておりません。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (2008年5月1日現在)

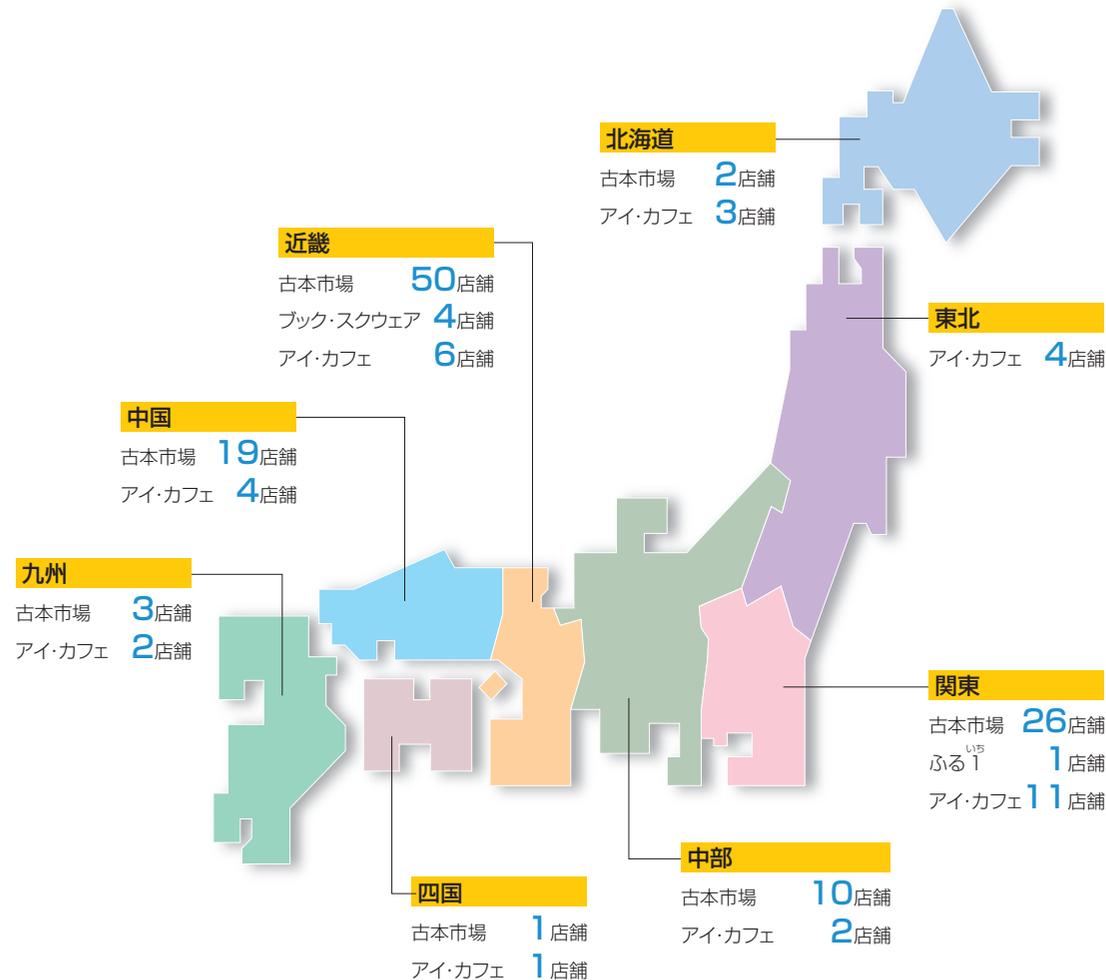
商号 株式会社ティーツー
 英訳名 TAY TWO CO., LTD.
 店舗名 古本市場、ふる^い、アイ・カフェ、ブック・スクウェア
 創業 1989年10月
 設立 1990年4月
 本社 岡山市今村650番111 TEL (086) 243-8600
 東京本部 東京都港区芝公園2丁目4番1号 ダヴィンチ芝パークA館8F
 TEL (03) 5408-5100
 代表者 代表取締役社長 大橋 康宏
 資本金 1,165,507千円
 *従業員数 454名 パート・アルバイト1,613名
 *主な事業内容

古本、TVゲームソフト・ハード、DVD、CD等の販売・買取及び
 ビデオレンタル業務、アイ・カフェ (インターネット・コミック・カフェ) の運営
 (注)*はティーツーグループ全体に関する記載であります。

役員 (2008年5月27日現在)

代表取締役社長 大橋 康宏
 取締役副社長 堀 久志
 常務取締役 片山 靖浩
 取締役 関本 慎治
 取締役 森崎 俊朗
 取締役 寺田 勝宏
 取締役(社外) 安田 育生
 取締役(社外) 吉田 就彦
 常勤監査役(社外) 西川 豊
 常勤監査役(社外) 武田 由隆
 監査役(社外) 平田 修
 監査役(社外) 岡本 博之

Net Work 店舗一覧 (2008年4月30日現在)



新店舗

古本市場
 大宮三橋店 埼玉県さいたま市大宮区三橋1-1188-1 2007年12月13日オープン

アイ・カフェ
 ピーアーク竹ノ塚店 東京都足立区竹の塚1-41-8 2008年4月11日オープン